

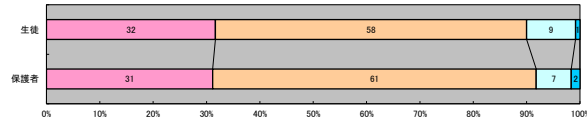
令和2年度 学校評価アンケートのまとめ

一迫商業高等学校

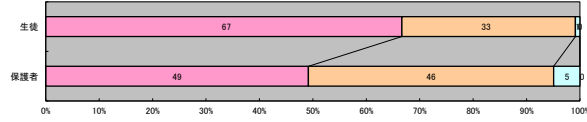
※凡例 全く当てはまる だいたい当てはまる あまり当てはまらない 当てはまらない

I 宮城県公立高等学校共通項目

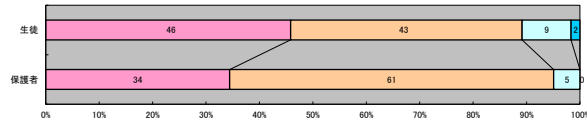
1 学ぶ意欲を引き出し、学力を身につけられるような授業が行われている（学習指導）



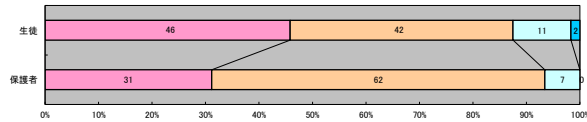
2 挨拶やマナーなどの基本的な生活習慣の確立に関する指導が行われている（生徒指導）



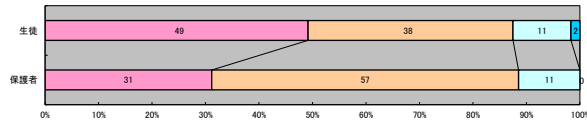
3 進路目標の明確化に向けた適切な指導が行われている（進路指導）



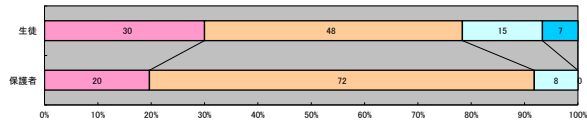
4 教員やカウンセラーが必要な時に相談に応じてくれる体制ができている（教育相談）



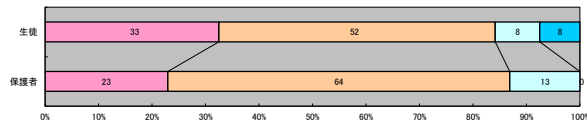
5 部活動は活発に行われている（部活動）



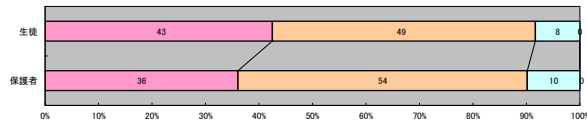
6 生徒会活動は活発に行われている（生徒会活動）



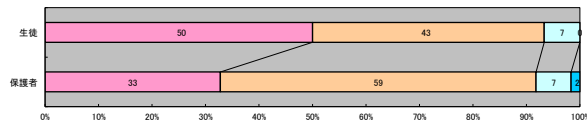
7 有意義な学校行事がある（学校行事）



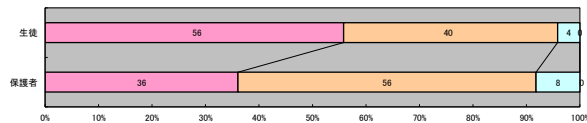
8 地域や伝統などに根ざした特色ある学校づくりに取り組んでいる（特色ある学校づくり）



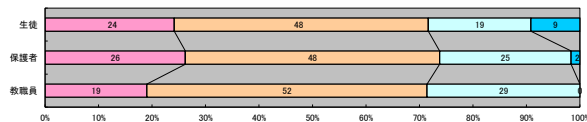
9 災害・非常時の避難方法や連絡方法は伝えられている（防災教育）



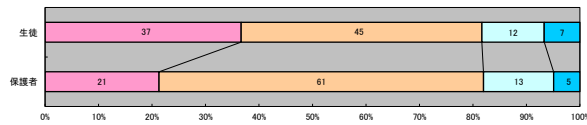
10 学校便りなどによって、学校の情報は適切に伝えられている（開かれた学校づくり）



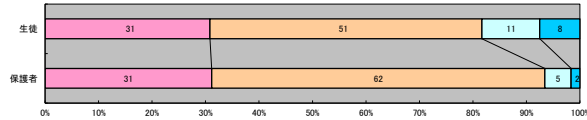
11 校舎やグラウンドなどの施設や設備は整備されている（施設設備）



12 学校として、日頃からいじめの早期発見に取り組んでいる（いじめ問題・生徒）
学校として、いじめの問題に対する取組方針が保護者と共有されている（いじめ問題・保護者・職員）



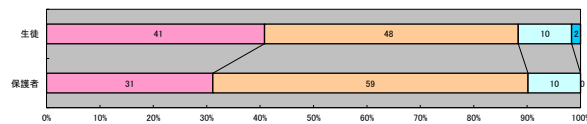
13 学校生活は充実している（総合満足度）



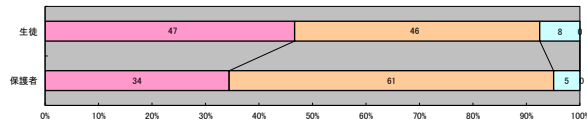
13質問項目、「よく当てはまる」「だいたい当てはまる」を合わせると概ね70%を超え、適切な学校運営がおこなわれていると評価できる。特に各項目で生徒・保護者すべてが80ポイント以上の項目は項目1（学習指導）、項目2（生徒指導）、項目3（進路指導）、項目4（教育相談）、項目7（学校行事）、項目8（特色ある学校づくり）、項目9（防災教育）、項目12（いじめ問題）の8項目。令和元年度と比較して項目7（学校行事）、項目12（いじめ問題）が入り、項目6（生徒会活動）が外れた。全体的にみて学校教育の重点指導項目（学習・生徒指導・進路）が高評価を得ている。

II 教育方針と学校経営

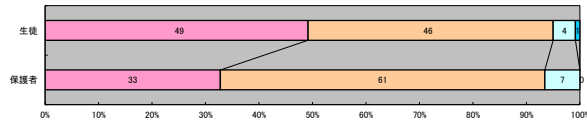
1 本校の教育方針や指導目標は分かりやすく共感できる



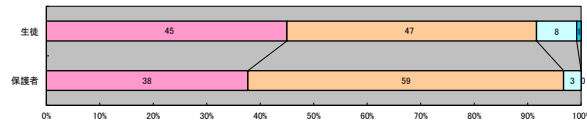
2 本校は、協調と奉仕の精神をもって誠実に責任を果たす生徒を育てようとしている



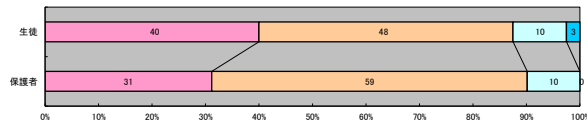
3 本校は、自主的で逞しい実践力のある生徒を育てようとしている



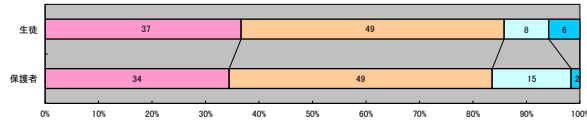
4 本校は、技能を習得し、勤労を重んじ、進んで創意工夫に努める生徒を育てようとしている



5 本校は、豊かな情操と高い道徳心のある生徒を育てようとしている



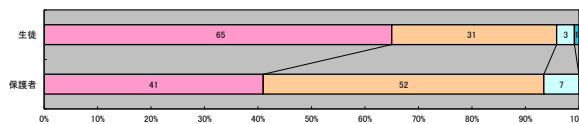
6 全職員が一致団結して教育活動にあたっている



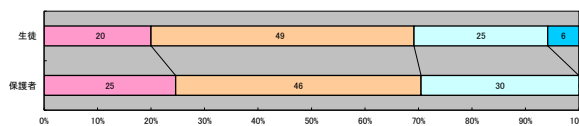
今年度は令和元年度と比較して6項目すべて、生徒の「よくあてはまる」「だいたい当てはまる」のポイントが伸張し、すべての項目で85ポイントを超えている結果となった。保護者もすべての項目で90ポイントを超えているので学校経営等に関し評価されていると分析する。

Ⅲ 基礎学力の充実向上

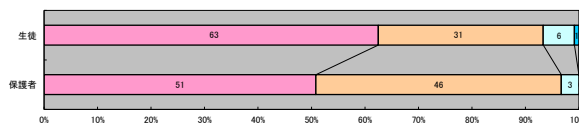
1 本校では、授業日数や時間は十分に確保されている



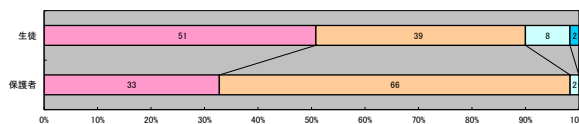
2 本校の先生は、生徒に授業後や週末によく宿題を出している



3 本校では、基礎学力の向上や検定取得に向けて課外や補習などを十分に実施している



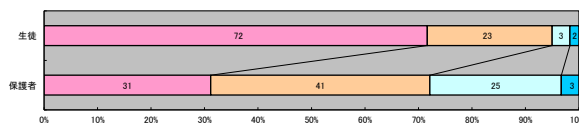
4 本校の学習環境は整っている



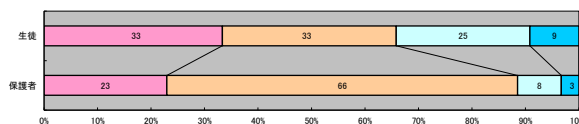
ほとんどの項目で「よく当てはまる」「だいたいあてはまる」合わせて8割を超えている。唯一「2、本校の先生は生徒に授業後や週末によく宿題を出している」項目については生徒・保護者で「あまり当てはまらない」「あてはまらない」が3割を超えている。理由としては、宿題を出すよりも、朝学習や検定補習、個別対応など実際に説明しながら課題を行わせる方が本校生徒にとって効果的であると判断しているのではないかと考えられる。今後は、基礎学力向上のためのマナトレや動画視聴と小テストを宿題にすることで改善されるものと思われる。さらに、その取り組みを保護者へ発信することで、毎日宿題が出されているという認識を持つのではないだろうか。

Ⅳ 規律ある生活習慣の確立

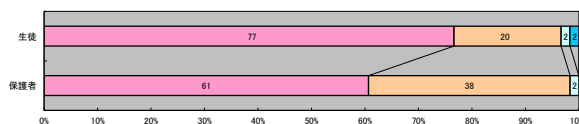
1 本校の生徒は、よくあいさつをする



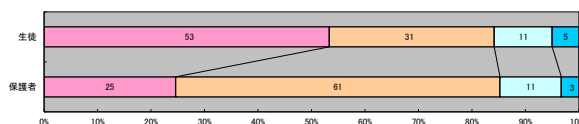
2 本校の生徒は、欠席・遅刻・早退が少ない



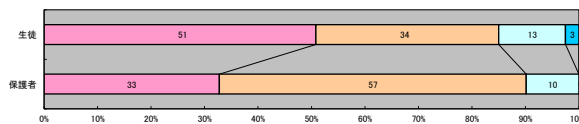
3 本校では、生徒の生活（頭髪や服装を含む）指導を厳しく適切に行っている



4 本校では、いじめや差別を許さず厳しく対応している



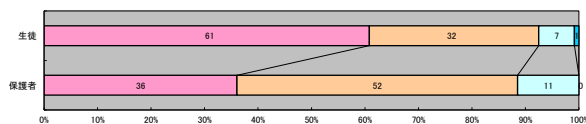
5 本校は、清掃などが徹底されて、きれいで整理されている



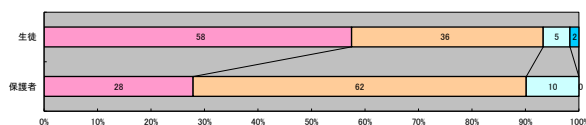
服装および頭髪指導面、清掃および整理整頓面、いじめへの対応面の項目では、生徒・保護者ともに8割以上が「よく当てはまる」「当てはまる」と自己評価している。学校の現在の取り組みが評価されていると解釈できる。一方、挨拶に関しては、保護者の評価が低く出ている。生徒の声小さいのか、教員の見ていない場面で挨拶をしないのか、今後生徒の行動面などからの分析が必要である。

V 自主的な進路設計とその実現

1 本校では、生徒に適切な進路情報を提供している



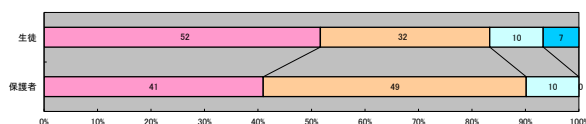
2 本校では、生徒が希望する進路を達成をしている



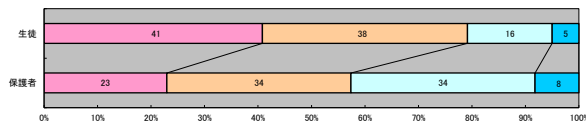
11に関しては情報を提供できているが9割を超えているが、生徒に関しては全員に提供できなくてはならないと考える。保護者に関しては、進路便りの少なさと各種案内が保護者へ届かないことが原因の一つだと考えられる。1年生のうちから一方的に与えるだけでなく、生徒の現在の進路希望を把握し、特に必要だと思われる生徒に対しては情報提供とは別に呼びかけをすることが必要かと思われる。また、質問2では一割の保護者が希望進路が達成できていないと考えている。質問1を改善し、また希望進路を考えるガイダンス、講話を増やし、考える機会を増やしたい。そして自ら考え行動できるよう指導することによって改善を図りたい。

VI その他

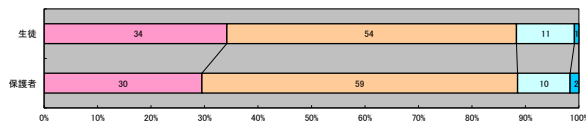
1 本校の職員は、礼儀正しく親切に対応してくれている



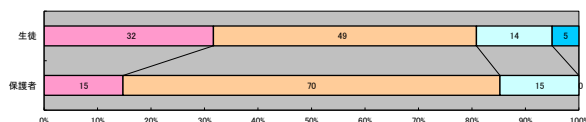
2 本校が実施している栗原版デュアルシステムは知っている



3 本校は、各種のボランティア活動を積極的に行っている



4 本校のホームページは、内容が充実している



「当てはまる」の回答が、項目1では前年度よりも生徒+8.0%上昇し例年並み(83.3%)に回復した。項目2での生徒+9.5上昇(79.2)は総合実践での両学科デュアルの取組が結果に現れたのか。一方で、保護者(57.4)への周知活動が今後も検討課題である。項目3では生徒(88.3)・保護者(88.5)は昨年並みであった。項目4は生徒+7.0で(80.8)・保護者+8.2で(85.2)ともに上昇している。